

The Flow of the Yamato River

: River Diversion and the Route of the New Yamato River

令和8年度 秋季企画展

9/8~12/6
火 日

入館無料
Free admission

大和川の 流れ

つげかえと新大和川のルート



「大和川連積り図(新川計画川筋比較図)」(中家文書)

文化財講演会

「大和川の流れ - 新大和川をどこに流すか -」

日時: 11月21日(土)

講師: 安村俊史(当館特別館長)

市民歴史大学

「大型前方後円墳の配置はどのように決められたのか
- 箸墓古墳・大和古墳群・柳本古墳群・佐紀古墳群 -」

日時: 9月26日(土)

講師: 犬木 努氏(大阪大谷大学 教授)

「松岳山古墳群と玉手山古墳群の意義」

日時: 10月17日(土)

講師: 森下 章司氏(大手前大学史学研究所 所長)

続・柏原の歴史講座

10月24日(土) 「竹原井離宮の造営」

11月28日(土) 「河内国分寺・国分尼寺の建立」

12月26日(土) 「聖武天皇の智識寺参拝」

講師: 安村俊史(当館特別館長)

◆ 共通事項 ◆

時間: 13:30 ~ (13:00 から受付)

会場: 柏原市立歴史資料館 研修室

定員: 先着 90 名 (申込み不要)

参加費: 200 円

史跡高井田横穴特別公開

10月17日(土) 10:00~15:00

会場: 史跡高井田横穴公園

参加費: 無料 (申込み不要)

◆ 学芸員によるガイドツアー

10時、11時、13時、14時

各回定員20名(先着順)

ビジュアルストーリーガイド

「もっと知りたい企画展-大和川の流れ-」

9月28日(月) 14:00~15:00

参加費: 無料 (申込み不要)

Zoomによるオンライン展示解説

スマホやPCを通じてどこからでも参加できます。

Kashiwara City Museum of History
柏原市立歴史資料館

Phone: 072-976-3430 / Email: rekishi@city.kashiwara.lg.jp

Address: 〒582-0015 大阪府柏原市高井田1598-1 / Parking: 7台

JR大和路線 高井田駅 徒歩約5分 / 近鉄大阪線 河内国分駅 徒歩約15分

9:30~17:00 (入館は16:30まで) 月曜休館 (祝日は開館)

Web site



なんども洪水をおこしていた大和川は、宝永元年（1704）につけかえられました。柏原から北へと流れていた川を、西の海へと流れるように新しい大和川をつくったのです。つけかえ前の大和川は、久宝寺川、玉櫛川、平野川などに分かれて流れ、大坂城の北で、もとの淀川（今の太川）に流れこんでいました。しかし、なだらかな平野を流れていたため水が流れにくく、大雨が降るとすぐに洪水をおこしていました。

そこで、洪水に苦しむ人たちは、大和川をつけかえてほしいとお願いをするようになりましたが、幕府（国の役所）は天和3年（1683）に、「ぜったいにつけかえしない」と決めました。ところが、元禄14年（1701）ごろに、急につけかえることに決めています。

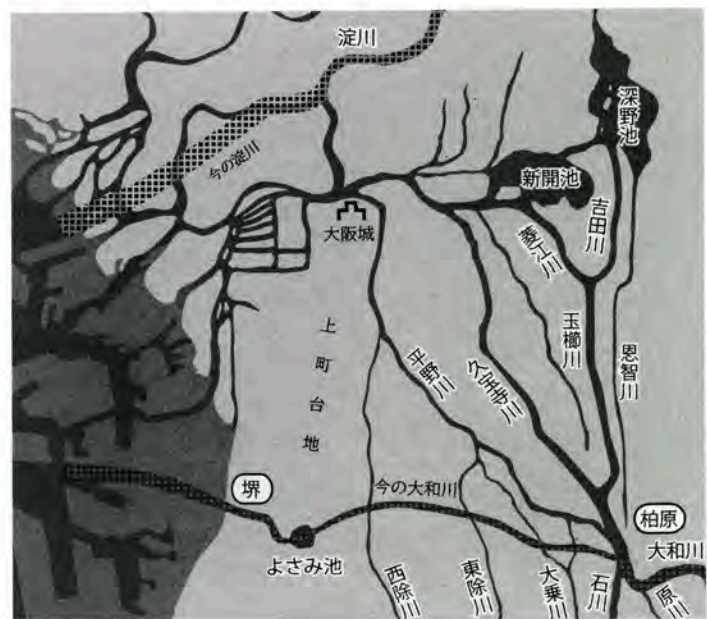
新しい大和川をどこへ流すか。いろいろと考えたうえで、今の流れに決めました。どうして柏原でつけかえることにしたのでしょうか。どうして新しくつくった川なのに、くねくねとまがっているのでしょうか。新大和川の流れについて、考えてみたいと思います。

つけかえ運動と幕府の調査

大和川のつけかえを求める運動が始まったのは、万治2年（1659）です。芝村の三郎右衛門と吉田村の治郎兵衛が中心でした。幕府は、つけかえてほしいというお願いが出されると、つけかえが必要かどうか、つけかえてうまく水が流れるのか、などいろいろと調査をしました。

調査は万治3年（1660）、寛文5年（1665）、寛文11年（1671）、延宝4年（1676）と5～6年に1回のペースでくり返されましたが、いつも「つけかえしない」という結論になりました。つけかえにたくさんのお金がいること、工事をするのがむずかしいことだけでなく、つけかえに反対する人たちがいたことも理由のひとつでした。新しい川ができるとこまる人たちが、つけかえに反対したのです。そして幕府は、天和3年（1683）の5回めの調査のあと、「ぜったいにつけかえしない」と決めました。

それでも洪水がなくならなかったもので、貞享4年（1687）にもつけかえのお願いが出されましたが、幕府はつけかえしないという考えを変えませんでした。これからあとの運動の中心人物が、中甚兵衛でした。甚兵衛らは、つけかえをあきらめて水が流れやすくなる工事をしてほしいというお願いに変えました。しかし協力する人も少なくなり、運動は、ほとんどなくなっていました。



つけかえ前の大和川

急に決まったつけかえ

「ぜったいにつけかえしない」と決めていた幕府が、元禄14年（1701）ごろになって、急につけかえることに決めました。堤奉行をしていた万年長十郎が、なんとかつけかえができな
いかと考えていたようです。そして、元禄16年（1703）には、つけかえをすることが正式に
決まりました。

どうしてつけかえることになったのか

つけかえ工事には、71,500両ほどのお金がかかりました。幕府が出したのは37,500両ほど
で、残りの34,000両ほどは工事を手伝うことになった大名たちが出しました。

つけかえのあと、もとの大和川は田畑になりました。これを新田といいます。新田をつくり
たい人たちは、幕府から土地を買わなければなりません。幕府がつけかえ工事で使った
お金は、新田を作りたい人たちに土地を売ったお金で、すべてもどってきたのです。

新しくできた新田は、新しい大和川をつくるためにつぶれた田畑の4倍の面積になりました。
新田からは、毎年、幕府に年貢（米ではらう税金）がはいってきます。幕府は、つけかえ工事
をすることによって、たくさんお金が入ってくる方法を考え出したのです。いくら工事をして
も洪水がなくならなかったことや、小さくなったとはいえ運動が続いていたことも大きかった
でしょう。でも、幕府にお金が入ってくるから、つけかえ工事をすることにしたのです。

こうして幕府はたくさんのお金が必要となるはずの大和川つけかえ工事を、幕府にお金が入
ってくる工事としておこなうことができました。これが、大和川つけかえ工事がおこなわれる
ことになった理由なのです。

新しい大和川をどこへ流すか

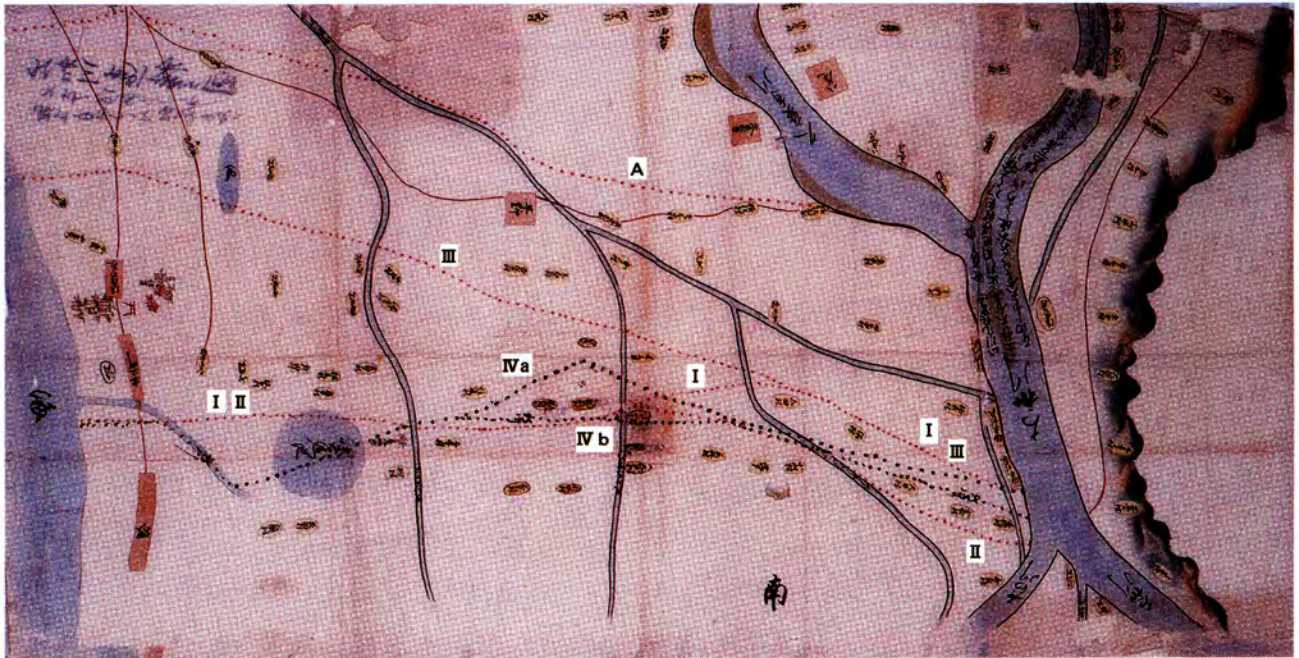
新しい大和川をどこに流すか。これは大きな問題でした。つけかえをお願いするときに、い
ろいろな流れを考えています。幕府もできるだけ家をつぶさないように、できるだけ洪水がお
こらないように、そしてできるだけかんたんに工事ができるように、といろいろと考えたよう
です。その結果、新しくつくった川なのに、くねくねとまがった川になっています。

わずか8か月のつけかえ工事

つけかえ工事は、宝永元年（1704）の2月から10月までおこなわれ、わずか8か月というスピ
ード工事でした。できるだけ掘らずに、どうしても掘らなければならないところだけ掘り、そ
の土で川の両側の堤防をつくることにして、むだのない工事をしました。

つけかえ後の大和川

新田では、綿がたくさん植えられ、綿からつくられた布は、じょうぶな河内木綿として各地
に売られました。洪水でこまっていた人たちは、洪水がなくなって喜びました。しかし、新し
い大和川の近くの人たちには、次々とこまったことがおこりました。大和川のつけかえで、苦
しむようになった人たちがいたことも、わすれないでください。



やまとがわたがえつも ず しんかわけいかくかわすじひかくず なかけもんじょ かしわらししていぶんかざい
大和川違積り図 (新川計画川筋比較図・中家文書・柏原市指定文化財)

新大和川のいろいろな計画ルートが記入されています。

A : 延暦7年(788)の和気清麻呂のつけかえルート[赤点線]

I : 寛文11年(1671)・延宝4年(1676)のルート[赤点線]

II : 天和3年(1683)の第1ルート[赤点線]

III : 天和3年(1683)の第2ルート[赤点線]

IV a : 宝永元年(1704)の新大和川計画ルート[黒点線]

IV b : 宝永元年(1704)の新大和川工事ルート[黒点線]

新大和川の流れ

①つけかえ地点

今のつけかえ地点だけでなく、北へ1.5km、南へ0.5kmでのつけかえも考えられていました。もとの大和川の幅がせまくなっているところで、つけかえられることになりました。

②瓜破の北か南か

瓜破付近は高台になっているので、これをさけて北へまげるか、それとも高台を掘ってまっすぐ流すか。最後まで、どちらにするか考えていたようです。

③浅香で南へまげる

新大和川は河口近くで大きくまがり、「浅香の千両曲がり」と言われています。上町台地という堅いところを掘り下げなければならなかったのも、よさみ池(味衛門池)を通り、もともとあった狭間川(谷川)の流れを利用することで、掘るところができるだけ少なくなるようにしたのでまがっているのです。最後は、いつも安立町の手水橋(手洗橋)となっていました。